

9/5 「大島丸」体験乗船

佐方小学校5年生106人が、大島商船高等専門学校の練習船「大島丸」に体験乗船しました。

この企画は、子どもたちに海への親しみを持ってもらふこと、船員という職業の魅力を伝えることを目的に全日本海員組合が実施しています。

子どもたちは、船からの景色を楽しんだり、操舵室、機関室、船内居住区の見学をしました。

見学後には「普段見られないところを間近で見学できた」「海や海で働く人の仕事への興味を深めていきたい」と感謝の気持ちを込めて感想を話しました。



▲機関室を見学する様子

9/16 おめでとうございます
100歳長寿のお祝い

今年度100歳を迎える大正15年生まれの上本逸三さん（津田）宅を松本市長が訪問し、国からの祝状と銀杯、市からの祝金を手渡ししました。

上本さんは津田で生まれ育ち、早くに他界されたお父さんの分まで、懸命に農作業をしてこられたそうです。現在もくわを手に農作業に勤しんでおり、「お酒も楽しんでいいます」とはにかむ笑顔が印象的でした。

今年度中に100歳を迎える市民は64人です。



▲元気の秘訣は「何でもよく食べ、しっかり動き、体を動かすこと」だそうです

人権擁護委員が表彰されました

人権擁護委員としての功績が顕著であるとして、梅本光子さんと前田幸子さんが表彰されました。

人権擁護委員は人権相談活動や人権啓発活動など、地域に密着したさまざまな活動を行っています。

「人権に関する悩み事がある場合は一人で悩まず気軽に相談してください」と梅本さん。前田さんは「背伸びをせずに、皆さんとともに人権を考えることを大切にしている」と話しました。



▲法務省人権擁護局長表彰をされた前田さん



▲全国人権擁護委員連合会会長表彰をされた梅本さん

「宮島の歴史」編さんが始まります

図 宮島の歴史編さん準備室 ☎442029

「宮島の歴史」とは

宮島の古代から現代までの歴史を新たに「宮島の歴史」として編さんするものです。令和2年に策定した「宮島まちづくり基本構想」を道しるべとして、令和7年度、市は宮島の歴史編さん準備室を設置し、「宮島の歴史」編さんの準備を進めています。令和17年度までに通史編と資料編を発刊します。

なぜつくるの？

現在、新たな歴史資料の発見や歴史研究が進んでいる一方、郷土のかけがえのない貴重な資料が失われつつあります。先人が築き上げてきた文化やまちの歴史を知り、郷土愛を育み、守り伝えるため、地域の歴史をまとめることが求められています。

他の地域は？

これまで、それぞれのまちの歴史が発刊されています。はつかいち市民図書館で読むことができます。

- ・廿日市町史 通史編（上下巻）、資料編（1巻～5巻）
- ・佐伯町誌 本編、資料編（1巻・2巻）
- ・吉和村誌 第1集・第2集
- ・大野町誌 第1版・第2版
- ・宮島町史 資料編（地誌紀行Ⅰ近世地誌・石造物）、特論編（建築）

編さん事業の6つのポイント

- ① 基本的人権の尊重
- ② 宮島を中心とした廿日市市全域のほか、周辺地域の資料収集・調査・研究
- ③ 平易な文体、写真や図表で分かりやすく表現
- ④ 印刷媒体以外にも電子媒体を活用
- ⑤ 市民活動・まちづくりなど広く市民などが活用できるよう、資料の計画的な整理・保存・公開・研究
- ⑥ 史実に基づいた公正・中立的な記述内容

「宮島の歴史」は、宮島が積み重ねてきた歴史とその価値を守り、後世に伝えていく大切な事業です。皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。